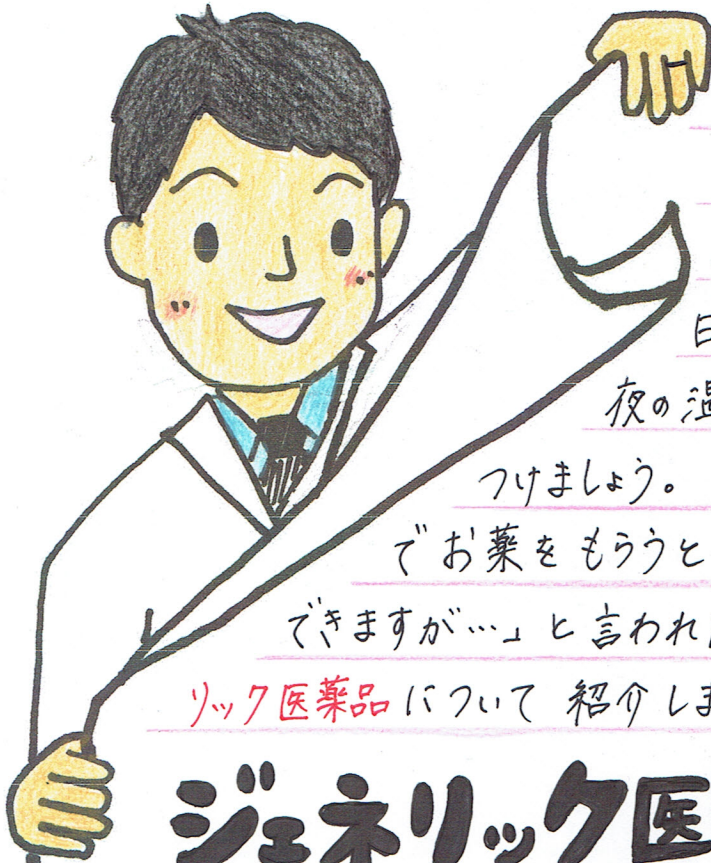


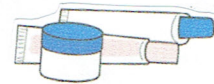
ジェネリック医薬品について知っておこう



みなさん、夏の思い出は
 できましたか？ 9月上旬はまだ
 まだ残暑が続きます。下旬にもなると、
 日が暮れるのも明らかに早くなり、
 夜の温度が下がります。健康管理に気を
 つけましょう。ところで、みなさんは病院や薬局
 でお薬をもらうときに「ジェネリック医薬品でもご用意
 できますが…」と言われたことはありませんか？ 今回は **ジェネ
 リック医薬品** について紹介します。

ジェネリック医薬品ってなに

病院やクリニックなどで医師から
 処方されるお薬は **医療用医薬品** といいます。



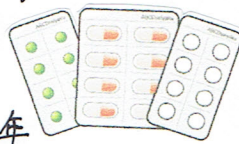
新薬

(新規に開発されたお薬)



開発期間：10年～30年

費用：数十億円～数百億円



ジェネリック医薬品

(新薬の特許が切れてから
 別会社で発売されたお薬)

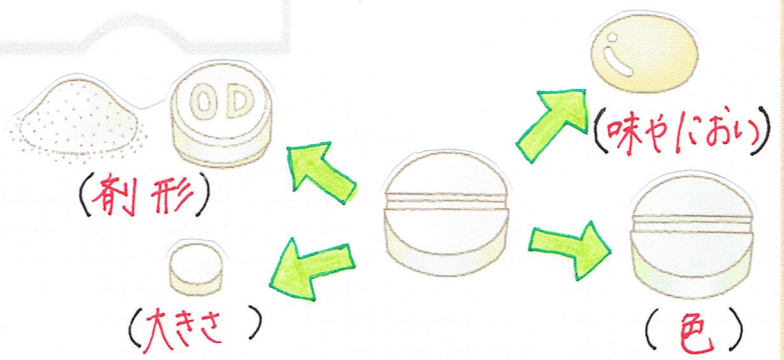


新薬と **同じ有効成分** で作られ、**効き
 目や安全性が新薬と同じだ** と認め
 られている



ジェネリック医薬品 (**後発医薬品**) は、開発費がかかっていないため、
お薬代が安くなり、長期服用が必要な方ほど自己負担の差額が大きくなります。

ジェネリック 医薬品の 特徴



それぞれの会社によって、大きさや味、においなどを改良して飲みやすく工夫されていることがあります。もちろん、飲み薬だけでなく点鼻薬や点眼液など外用薬も工夫されているものがあります。

～ジェネリック医薬品変更したい場合～

まずは薬剤師に相談しましょう！ 方法は **2つ** あります。

方法1 処方日数分を全て変更

(例) 14日処方 **調剤**

ジェネリック医薬品
を調剤(処方日数分) } 14日分

方法2 「お試し調剤」を活用

(例) 14日処方 **調剤**

ジェネリック医薬品
を調剤(7日分)

引き続きジェネリック医薬品
を調剤(残り7日分)

変更前の先発医薬品で調剤

ジェネリック医薬品をご希望の方は、ご相談ください



冷えによる
体調不良に
ご注意を!!

9月に入り、体には夏の疲れが溜まっているうえ、昼夜の気温変化も激しくひります。季節の変わり目には、しっかりと体調管理をしないと「冷え」による体調不良につながります。